

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法概論Ⅱ		講義	鮫島 一雄	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>次年度の臨床実習を目前にして、今までの単なる知識の詰め込みだけでは、実際の臨床実習では不十分である。この授業では、臨床実習に必要なPT学生としての資質面および問題解決能力の向上を目的とする。そのために、今までの記憶が中心であった授業でなく、基本的な知識をすでに習得しているという前提で、小テスト・口頭試問を随時行っていく。</p>				
授業の到達目標				
<p>・理学療法用語を理解する ・理学療法過程を理解する ・理学療法過程に沿って考えられる ・臨床推論を理解する ・SOAPを理解する ・電子カルテと紙カルテの違いを知る ・診療報酬制度の概略を理解する</p>				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 理学療法業務について			
2	運動療法の歴史			
3	理学療法過程1(PDCA とEPDCAサイクル)			
4	理学療法過程2(目標設定と問題)			
5	理学療法過程3(患者の問題点の抽出)			
6	理学療法過程4(医師からの指示・処方箋)			
7	理学療法過程5(情報収集：基本情報、健康状態、個人・環境因子)			
8	理学療法過程6(情報の解釈/統合と解釈)			
9	ボトムアップからトップダウンへ 臨床推論 クリニカルリーズニング			
10	主訴・要望・ニーズ ホープ 理学療法目標			
11	ガイドライン クリニカルパス			
12	評価の視点とアプローチ、統合と解釈、診断と評価			
13	ロートンモデル 社会保障とは 保険診療とは			
14	診療記録の役割 電子カルテと紙カルテ			
15	POSとPOMRについてSOAPの意味と内容			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト		授業中に数回実施する		
平常点		授業への出席状況と授業態度等		
その他				
自由記載	小テストと平常点で70点以上の場合は、定期試験を免除する			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
概説理学療法第2版	有馬慶美 編集		文光堂	
電子辞書				
自由記載	必要に応じてプリントを配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				